

これが金井東裏遺跡!!!

どんなところにあるの？

金井東裏遺跡は、渋川市中心街から北西方向3.3 kmほどに位置する渋川市金井にあります。

国道353号金井バイパス（上信自動車道）建設に関連して、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が平成24年9月から発掘調査を行っています。

遺跡は、榛名山の北東麓を流れる登沢川によって形成された扇状地末端部の標高230 mほどの緩い傾斜面に立地し、調査地点のすぐ東側には20 mほどの高さの崖が形成されています。

この崖の東には吾妻川まで平坦な地形が続き、この平坦な面には坂下町古墳群や東町古墳などの5世紀後半に築造されたと考えられる古墳群があります。また、吾妻川を挟んだ対岸には、黒井峯遺跡や白井遺跡群などの火山災害を伝える遺跡があります。

榛名山の噴火で埋もれたってホント？

金井東裏遺跡は、古墳時代（6世紀代）に二度にわたって起こった榛名山の噴火の噴出物で埋まっていた。発掘をすると、遺跡のなかにはその様子が明瞭に残されていました。一つは、6世紀中頃の噴火に伴って堆積した2 mにも及ぶ軽石（榛名ニツ岳伊香保テフラ:Hr-FP）で、もう一つは6世紀初頭の噴火に伴う火山灰と火砕流堆積物（榛名ニツ岳渋川テフラ:Hr-FA）です。

特に金井東裏遺跡に大きな被害をもたらした6世紀初頭のHr-FAを堆積させた噴火は、短い期間に15回ほどの噴火を繰り返したとみられています。金井東裏遺跡では3回目と7回目の噴火に伴う火砕流による被害が大きかったようです。この災害をもたらした榛名山ニツ岳は、遺跡の南西方向8 kmほどのごく近い距離にあります。



金井東裏遺跡の位置



金井東裏遺跡の遠景（北東から）



榛名山ニツ岳の噴火で堆積した軽石(Hr-FP)と火山灰(Hr-FA)

古墳人が見つかりました！

国内初の発見となった火山噴火で被災した「甲を着た古墳人（成人男性）」は、平成24年11月19日に、Hr-FAで埋もれた31号溝の中から突如として姿を現しました。甲を着た古墳人は、頭を西に向けた状態で両膝を地面につき、うつ伏せの状態で見つかりました。

古墳人が身に付けていた甲は、小札甲という鉄板を数百枚綴じて作ったもので、内部の調査で腰に鹿角の柄を付けた刀子と砥石を持っていることがわかりました。また、頭部のCTスキャンによって顔の下に骨があることが明らかになりました。

甲を着た古墳人の3mほど東側の溝の中からは、乳児の頭骨の一部が発見され、さらに16mほど西側には管玉とガラス玉の首飾りを着けた成人女性の古墳人がうつ伏せで倒れていました。この女性のさらに北西方向16mほどの場所からは、うつ伏せに倒れた幼児が発見され、年齢性別を異にする少なくとも4人の古墳人が火砕流に被災していることがわかりました。



甲を着た古墳人



2号甲(手前)と甲を着た古墳人(奥)

甲を着た古墳人が持っていたかも。

甲を着た古墳人のすぐ西側から、巻かれた状態の甲（2号甲）と20数本の鉄鏃が、さらに5mほど西側からは鉄矛が発見されました。2号甲はCTスキャンによって甲を着た古墳人の甲と同じ「小札甲」であることがわかり、さらにその後の調査で巻かれた甲の内側から国内で初めての骨製小札が発見されました。鉄鏃は、矢の柄との境近くに球形の骨製の飾りが付けられた珍しいものでした。また、鉄矛は、柄との境に模様を刻んだ鹿角製の装飾が施され、さらにその上下に金属製の飾りを付けた極めて珍しいものでした。これらの武器・武具は、出土状況から甲を着た古墳人の持ち物である可能性が高いと考えています。



国内で初めて発見された骨製小札

古墳人の暮らした風景が見えてきました。

「甲を着た古墳人」の発見された調査区では、甲を着た古墳人が倒れていた溝のほか、北西部からは鏡や石製模造品、勾玉、ガラス玉、鉄製品など1万点近くの遺物が集積された祭祀遺構が、また、北側の調査区からは、畠や平地建物、竪穴住居、円墳などのほか、100点を超える赤色顔料を団子状にまるめた「赤玉」や「剣菱形杏葉」と呼ばれる馬につける飾りが出土しました。

さらに、南の調査区からは火砕流で壊されたと思われる平地建物や裸足の足跡の残された道が見つかるなど、甲を着た古墳人を取り巻く環境を復元するための材料が揃ってきました。

これからの調査にご期待下さい。

金井東裏遺跡の発掘調査と甲を着た古墳人などの詳細調査は、今後も続けられていきます。発掘調査では、多くの情報が得られるものと思われるので、甲を着た古墳人の生活空間を明瞭に描き出していくことができるものと考えています。

詳細調査では、甲や冑、矛などの武具・武器の綿密な調査と分析を進め、甲を着た古墳人がどのような社会的立場の人であったのかを明らかにしていくつもりです。また、古墳人そのものを明らかにするために、骨の形質人類学的な調査を進めるとともに、DNA分析や食性分析、ストロンチウム分析などのさまざまな分析を行っていく予定です。

発見された遺物などのトピックスは、「甲を着た古墳人だより」をご覧ください。



土器が集積された祭祀跡



赤玉が出土したようす

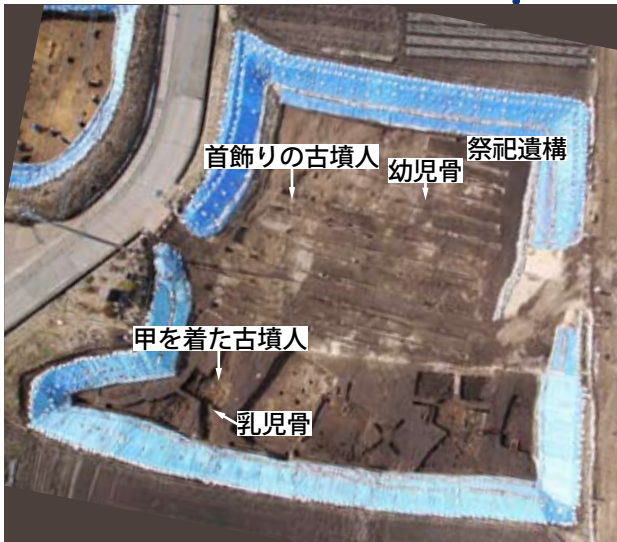
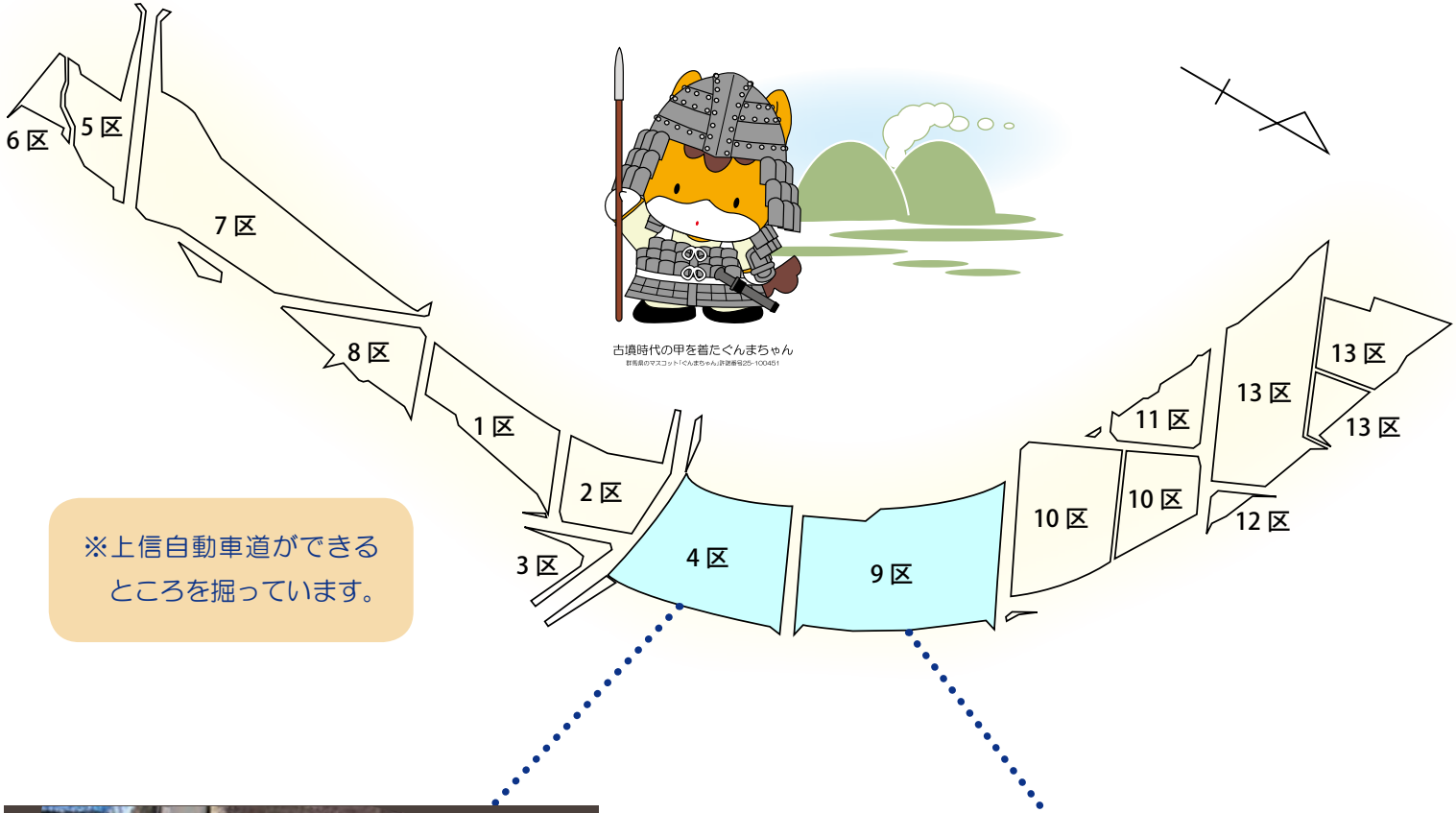


古墳人の足跡を調査

これが金井東裏遺跡!!!

こんな風に掘っています。

榛名山はこちらの方向です。



古墳人が見つかった4区



古墳などが見つかった9区

「甲を着た古墳人」のみ見つかった金井東裏遺跡



公益財団法人
群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 渋川市北橋町下箱田784-2

☎0279-52-2513 <http://www.gunmaibun.org/>